

< 参考資料 >

リノール酸配合外用剤の肝斑に対する臨床効果

リノール酸配合外用剤臨床研究班

女性の肌の悩みのなかでも、シミ・ソバカスは最も大きな悩みのひとつです。肌を白く保ちたいという願望を実現するために美白剤への期待は大きく、近年美白のメカニズムについての研究が盛んに行われ、臨床上満足できる有効性と安全性を備えた新しいタイプの美白剤の開発が行われています。

本研究に使用した外用剤はリノール酸を 0.1%含有する製剤です。リノール酸は、不飽和脂肪酸で、植物油脂をはじめとした種々の食品に含まれる必須脂肪酸です。リノール酸は、これまで化粧品基剤として用いられることはありましたが、皮膚に対して積極的な薬理効果をもたらす化粧品原料としてはほとんど考えられていませんでした。しかし、近年の研究では、リノール酸がメラニン生成に関与する酵素チロシナーゼの活性を抑制し、優れたメラニン生成抑制作用をもつことが報告されています。

そこで、本研究では、リノール酸を 0.1%含有するジェル製剤の肝斑（シミ）に対する臨床評価を、5つの病院の皮膚科からなる臨床研究班で実施しました。

（実験方法）

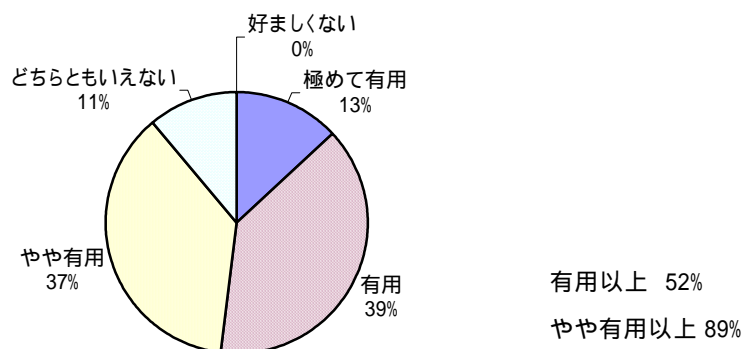
リノール酸配合ジェル製剤を肝斑（シミ）の被験者 54 例に 1 日 2 回適用。
被験者は全て女性を対象とし、年齢は 23～79 歳で、平均年齢は 47.7 歳。
使用期間は、6 カ月間が 51 例、4 カ月間 3 例。

（結果）

試験の結果、全般改善度において「やや改善」以上の改善率は 1 カ月後 24.0%、2 カ月後 52.8%、4 カ月後 83.0%、6 カ月後 88.2%。副作用は全例において認められませんでした。全般改善度と安全性を総合的に評価した有用性においては、「極めて有用」7 例、「有用」21 例、「やや有用」20 例、「どちらともいえない」6 例、「好ましくない」0 例となり、有用率は「やや有用」以上で 88.9%、「有用」以上で 51.9%。この結果より、リノール酸配合外用剤は、肝斑（シミ）に対し有効かつ安全性の高い製剤であると考えられます。

肝斑（シミ）の被験者の有用性

極めて有用	有用	やや有用	どちらとも いえない	好ましく ない	合計症例数
7	21	20	6	0	54



（結論）

肝斑（シミ）は、紫外線量の季節的変動にともない悪化と改善を繰り返す傾向があることは経験的に知られています。しかし、本試験では試験を開始した季節に関係なくほぼ同等の有用性が認められました。また、リノール酸の特性からみても安全性に関しては問題ないと考えられ、新しいタイプの美白剤として有用性を十分に期待させるものであるといえます。

以上の結果より、本試験に使用したリノール酸配合外用剤は、肝斑（シミ）に対し有効かつ安全性の高い製剤であると考えられます。

（出典）西日本皮膚科別冊
1998年8月発行
（第60巻第4号）

サンスター株式会社では、リノール酸の特性を活かしながりポソーム化したリノール酸を含む、ジェル状製剤を独自に開発しました。製剤中のリノール酸は「リノール酸S」として配合され、「メラニンの生成を抑え、しみ、そばかすを防ぐ」医薬部外品の有効成分として2001年4月18日に厚生労働省より承認されました。

サンスター株式会社 広報室(本社) TEL072-682-6212 FAX072-682-7917

サンスター株式会社 広報室(東京) TEL03-5441-1424 FAX03-5441-8778